

# くすのき だより

心ではぐくむ、健康と笑顔の樹。

VOL.  
18

2013年  
7月発刊



## INDEX 目次

写真/5階病棟 安藤 百合江 (撮影場所/なばなの里)

秋篠宮殿下を新総裁にお迎えして	2
4月から「歯科口腔外科」に変わりました	2
看護の日「ふれあい看護体験」を開催しました	3
「患者さんの声」の集計結果について	4~5
知っていますか? 「なでしこプラン」	6
QC大会2連覇	6
資格取得者の声	7
私たちの職場	7

新人自己紹介	8~10
無料・低額診療事業	11

RENEWAL!!

今号より「済生会富山病院報」が  
「くすのきだより」に  
リニューアルされました!



## 秋篠宮殿下を新総裁にお迎えして

院長 三崎拓郎



誰もがご存知な秋篠宮殿下が、この4月から済生会の第6代総裁にご就任されました。済生会は明治天皇が明治4年(1911年)に生活困窮者の命を救う目的で作られ、初代の総裁には孝明天皇の養子でもありました伏

見宮貞愛親王がご就任されました。富山病院屋上に掲げてある済生会のシンボルマーク「露に撫子」は伏見宮親王の詠まれた和歌「露にふす 末野の小草 いかにと あさ夕かかる わがころかな」に由来するものであります。それ以来102年皇室との関係が続いておりますが、この度、生物学にご造詣の深

く、米国科学アカデミー紀要に発表されるなど科学者としての一面をお持ちの秋篠宮殿下をお迎えし新たな済生会が出発いたしました。全国5万3千人の職員一同大変喜んでおります。

さて、この4月から富山病院も交代で新しい若い人たちがやってまいりました。地域医療を守るとの観点から、本年度は脳卒中ホットラインに加え、循環器ホットラインを設置し、二次輪番救急体制を維持するとともに、近隣の診療所、病院と緊密な関係を保ち、昼間の救急は極力断ることの無い体制を築いてまいります。また最新の医療設備の導入も予定しておりますので検査紹介をどの様に進めるかも検討しております。さらにはインプラントの出来る歯科医を招聘しましたので標榜科を歯科口腔外科に変更しました。

今後済生会富山病院は、小回りの利く特性を生かし地域で最も存在感のある、活気あふれる病院を目指し努力して参りますので宜しくご指導下さい。

## 4月から「歯科口腔外科」に変わりました 歯科口腔外科 医長 津野宏彰

本年度より私、津野が担当させていただくと同時に、標榜を「歯科口腔外科」に変更させていただきました。これまで同様、谷本、坂口、杉本、松越の頼もしい4人の歯科衛生士と共に、日々の診療にあたっております。

口腔内の疾病の多くは、口腔内の清掃不良による細菌感染が原因で生じます。よって、ある意味生活習慣病のひとつとして考えられており、この細菌感染をコントロールする事が重要です。簡単に言うと、日々のブラッシングが肝となるため、当科では、まず口腔清掃指導を徹底し、予防的観点からの治療を前提としております。歯磨き指導に対して、面倒臭いという印象を受けられるかもしれませんが、我々は患者さんが受け身ではなく、主体性をもった治療を心がけていきたいと思っております。

また、歯科治療の最終ゴールは、咬み合わせのリハビリテーションと健全な口腔環境の維持にあります。従来の入れ歯やブリッジなどの治療法に加え、最近では、デンタルインプラントを応用した咬合再建も有効です。しかしながら、治療に関しては、患者さんの持つ個々の問題点に対して、最適な解決法を模索していく必要があります。詳細に関しては、当科で十分な診査を行った上で、説明しますので、ご相談ください。

さらに本年度からは、一般歯科医院で対応が困難な口腔外科疾患や全身疾患を有する患者さんの口腔外科処置も担当させていただきます。埋伏智歯(親知らず)をはじめとした難抜歯、顎関節症、歯や顎骨の外傷、口腔粘膜や顎骨内の病変の治療が該当しますが、これらの疾患に対しては、必要に応じて、かかりつけ歯科医院との連携の上、安心・安全な治療を行えるような体制作りにつとめております。

当院では既に、入院患者さんの口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーションのシステムが十分に構築されております。今後、これまでの実績を踏襲しつつ、歯科口腔外科医療における病診連携を強化していく所存です。



## 「看護の日」ふれあい体験を開催しました

主任看護師 岸岡真弓・碓井里実

平成25年  
5月13日(日)  
9:00～  
エントランスホール  
にて

看護協会が制定する「看護の日」にちなみ、イベントを開催しました。

病院を利用される方々や地域住民の方々の参加を仰ぎ、健康状態に応じたアドバイスや専門的指導を行い、参加者のみなさんとの交流を図りました。



アロマハンドマッサージ



アロマフットマッサージ

体脂肪率や筋肉量などを測定できる体組成計による健康チェックやハンドマッサージ・フットマッサージなどを行い、交流を深めました。多くの方に参加していただき大盛況でした。



非常食試食・防災グッズ展示

東日本大震災以降、災害の少ない富山のみなさまにも、防災に対する意識を高めてもらおうと、手軽に準備できる備蓄品の紹介をしました。

また栄養管理科の栄養士の方々にもご協力いただき、非常食の展示と寒天雑炊やスープ、ビスケットなどの試食を行いました。なかなかおいしいとの高評価でした。

脳卒中予防相談



特定分野に詳しい脳卒中リハビリテーション認定看護師による脳卒中予防相談を行いました。

参加者のみなさんからは、アドバイスを受け、健康への意識が高まったと話されていました。

# 「患者さんの声」に お答えします

事務部長 高道秀一

## 1 概要

### ●意見内容

テ マ	主な内容	件数
設備・サービス	トイレ、駐車場、病衣などへの意見	31
診療	医師の説明、診療技術などへの意見	16
職員の待遇など	職員の態度などへの意見	14
感謝・激励など	スタッフへの感謝、お褒め、激励などのみの内容	13
待ち時間	受付の改善・待ち時間の短縮などへの意見	5
給食	食事内容などへの意見	5
その他	同室患者への苦情など	11
	合計	95

●意見箱設置場所 1階エントランスホール、2階くつろぎ広場及び各病棟 計7カ所

●回収期間 平成24年3月～平成25年2月

### ●結果の措置

1年の間に厳しいお叱りのご意見から感謝のお言葉まで、いろいろなご意見・ご要望等をいただきました。また、ご意見・ご要望とともに感謝のお言葉も添えてある意見も多数ありました。

内容の取りまとめ及び代表的な事例については、経営管理会議に報告するとともに広報誌及びホームページに掲載します。(経営管理会議で全ての「患者さんの声」を回覧しています)

## 2 「患者さんの声」及びご意見に対する当院の対応について(代表的なもの)

患者さんの声	当院の考え、対応
<b>待ち時間に関するご意見</b> （診療日が連休明け）予約しているにも関わらず、1時間以上待たされた。予約管理に問題がある。待たせるにしても、どれくらいかかるか案内すればよい。	待ち時間の長いことに関しては誠に申し訳ございません。今後は、連休明けなど混み合うことが予想される場合には、比較的空いている午後の診療を勧めたり、受診日の変更ができないかを伺うなどの対応をします。また、待ち時間が長くなっていることへの案内や受付に待ち時間が長いことの貼り紙をするなどの対応をとります。
<b>診療に関するご意見</b> 乳がん手術などの患者の看護については、同性の看護師の方が好ましい。	この度は、配慮が足りず申し訳ありませんでした。今後は、特に男性の看護師の業務分担には十分配慮いたします。
マンモグラフィの検査は痛すぎます。もう少し何とかありませんか、考えて欲しい。	つらい思いをさせて申し訳ありません。マンモグラフィは、2枚の板で10kg程度の重さをかけ乳房を挟んでX線撮影します。挟むときには受診者の年齢や生理周

	<p>期でも強弱が左右されますが痛みが伴います。今後、撮影技術の向上に努めるとともに患者さんへの配慮を徹底いたします。乳がんの早期検査には絶対欠かせない検査ですのでご理解の程よろしく申し上げます。</p>
<p><b>設備・サービスに関するご意見</b> トーストやピザを食べたいときがあるので湯沸場にオーブントースターを置いてほしい。</p>	<p>電子レンジは設置していますが、火災発生の恐れがあるオーブントースターは置けませんのでご理解ください。</p>
<p><b>給食に関するご意見</b> 食事は工夫がしてあり、おいしかったです。退院後の参考のためにもカロリー表示をお願いしたい。</p>	<p>現在、電子カルテと献立が連動しておらず各々の食札にカロリーや栄養量が表示できません。 常食の週間献立表については各病棟に貼り出していますが、多種に亘る他の食種献立表は掲示していません。これまでも、ご希望があれば、食種献立表をお渡ししておりましたが、以後その旨を各病棟に掲示し、患者さんのご希望に沿うようにしました。</p>
<p>入院患者にとって食事は、1日の中で心待ちにしている楽しみです。胃切除後の7分粥をいただいているが同じメニューが何度も出てくるので工夫をお願いしたい。</p>	<p>3・5・7分粥は、1食または1日上がりで行われることを前提としているため1週間サイクルメニューとなっています。長く7分菜を食される場合にご指摘されたことがあります。今回のご意見を機に1週間サイクルから3週間サイクルメニューに見直しました。また、特に長期間入院の患者さんの思いをお聞きするため、お部屋を訪ねる機会を多くします。</p>
<p><b>職員の接遇などに関するご意見</b> 認知症があると思われるおばあちゃんに対して強い口調で注意する看護師の対応を見てショックを受けた。</p>	<p>混乱し動き回るような激しい認知症の患者さんへの対応に苦勞していた状態であったと思います。当院に認知症専門の看護師もいますので、認知症と思われる患者さんを把握し院内の看護師に教育し、統一した看護が提供できるよう努力いたします。改めて、病院の理念(「患者さん本位の心温まる優れた医療の提供」)が実施できるよう再指導し、患者さんやご家族に配慮した行動がとれるようにいたします。</p>
<p><b>その他のご意見</b> 運動不足で院内を歩いたり、手足の運動をしているが、リハビリテーションにある運動器具を空いているときだけでも使用させてもらえないのか。</p>	<p>入院中、体力温存のために身体を動かしたいお気持ちはよく分かりますが、リハビリテーションにある運動器具(医療機器)は、医師の指示に基づく治療を目的にしたリハビリに限定しております。自主訓練には、施設機器の管理、事故の予防や発生時の対応など解決すべき課題が多くあり、現時点ではご遠慮いただいておりますことをご理解ください。</p>

## 知っていますか？「なでしこプラン」

医療社会事業課 主事 竹 真祐美

「なでしこプラン」とは、「済生会生活困窮者支援事業」の通称です。ホームレスや刑務所出所者、外国人、DV被害者など、何らかの理由で所得が低い方たちに対し、無料低額診療事業では対象とならない、健康診断や予防接種、相談支援などを無料で実施し、支援していこうというものです。平成21年より全国済生会が一丸となり、病院ごとに事業内容を決めて支援の輪を広げています。

当院では更生保護施設入所者に対する「インフルエンザ予防接種事業」や、ホームレスに対する「健康・医療相談及び実態調査事業」、他にも「DV被害者等医療支援事業」など計6事業を実施しています。平成23年10月に開所した「富山県地域生活定着支援センター」受託もなでしこプランの一つです。

中でもホームレス健康・医療相談及び実態調査事業とインフルエンザ予防接種事業は、院長自らが院外に出て対象者を診察しています。ホームレス健康・医療相談及び実態調査はこれまで6回実施し、正にその最中、救急搬送となったケースもありました。なでしこプランの対象者はその日食べる物にも困る状況で、医療なんて後回しという方がほとんどです。医

療にアクセスしづらい方に、こちらから出向いて手を差し延べる事が、なでしこプランの目的です。しかしそこには医療的な支援だけでなく「人と人との繋がり」があると感じています。

急性期病院として地域医療に貢献する一方で、なでしこプランや無料低額診療事業は、「社会福祉法人恩賜財団済生会」としての重要な使命です。主に医療ソーシャルワーカー中心で取り組み始めたなでしこプランも、今では関わる職種も多くなりました。インフルエンザ予防接種事業では、院長と共に看護師も更生保護施設を訪問しました。実際に対象者に関わる事で、済生会がなでしこプランを行う意義、果たす役割を実感する事が出来ます。これからも職員一丸となって、なでしこプランに取り組んでいきたいと思えます。



## QC大会2連覇

放射線技術科 診療放射線技師 千代勇氣

私たち放射線技術科は一昨年、どうしたら患者さんに思いを伝えられるかについて考えてきました。そして去年は、外国人患者さんには翻訳カードで、聴覚障害患者さんには手話でコミュニケーションをはかるというQC発表を行いました。その経緯について少し書かせていただきます。

事の発端は日本語が話せない外国人患者さんが検査に来られたことでした。こちらの指示が思うように伝わらず、これではいけないと活動を始めましたが、対策も簡単ではありませんでした。外国人患者さんについては、来院される患者さんが数か国にわたるので「各言語を覚えて話す」というのは現実的ではなく、またパソコンなどの翻訳機器に通訳してもらうのは機器に費用がかかります。聴覚障害患者さんについても、素人の手話で本当に伝わるのかどうか分からず、知識もない状態でした。しかし、私たちはやや日本語の分かる外国人患者さんやその通訳さんに、検査で多用する説明文の翻訳をお願いすることで翻訳カードを作ることができ、手話も講師をお招きして聴覚障害患者さん目線の話を選び、技

師全員での練習を繰り返すことで30種類の手話を使うようになりました。

実際にカードや手話を用いて検査を行った技師から、検査中や検査後患者さんが笑顔になれるという意見が聞かれました。私たちが検査をスムーズに行うために思いを伝えようと活動してきたことが、患者さんには喜びとして伝わったように感じます。患者さんの笑顔がその証拠であり、検査に対する不安を和らげ、一つの信頼関係を築けたのだと思います。活動としてはまだまだこれからですが、この信頼関係につながった今回のQCは大成功だったのではないかと考えます。



## 資格 取得者 の声

### 「口から食べる」ことは生きる源

歯科 係長 坂口奈美子

私は平成23年に日本歯科衛生士会の摂食嚥下リハビリテーションの認定を取得しました。

病棟で歯科衛生士が口腔ケアアウンドを開始して10年以上が経ちましたが、口腔ケアを行った患者さんがどんどん元気になっていく姿を見て口腔ケアは口腔保清に留まらず、口腔機能の改善に繋がるという事を身を以て感じていました。その後摂食嚥下チームが発足し活動する中で、口腔ケアの大切さ、チーム医療の必要性、多職種協同の面白さを実感し、認定取得を志しました。歯科衛生士の口腔内に直接関与できる特性を生かして器質的問題や口腔機能を正しく評価し、専門的口腔ケアを行うことで安全に経口摂取が行える口腔環境を整える、機能的口腔ケアで口腔機能の維持・改善を図り嚥下機能に繋げる、誤嚥性肺炎を予防するなどが大きな役割となります。嚥下回

診の時、久しぶりにゼリーを口にした患者さんが嬉しそうに「ああ、うまい」と言いました。普段は寡黙で表情を表に出すことのない患者さんただけに今でもあの一言を忘れることができません。何らかの原因で食べる機能が失われてしまったとき、それでも人は医療によって生かされることとなります。しかし「口から食べる」ことは生きる源であり生きる楽しみなのです。絶食を余儀なくされている患者さんも機能的口腔ケアを行うことで嚥下機能を保つことが可能です。一人でも多くの患者さんの食べる意欲や機能改善のお手伝いができたらと思います。

当院の嚥下チームは摂食嚥下障害看護認定看護師をはじめ、認定を持ったスタッフが多数在籍する全国でも珍しいチームです。その一員として少しでもお役にたてるよう頑張りたいと思います。

## 私たち の 職場

### 「消化器・内視鏡センター」

センター部門1階 師長 柳原照代

当院の消化器内視鏡センターは、日本消化器内視鏡学会の認定施設となっています。

指導医、専門医資格のある医師10名(指導医3名、専門医5名含む)と内視鏡技師資格を有するスタッフを含めた看護師6名、看護助手1名、事務員1名で治療に当たっています。

当センターには検診の方も多く、受診者の方々の検査への不安や緊張感が少しでも和らぐよう、センター内には、心が落ち着くような音楽が流れ、リクライニングマッサージチェアを備えた広いスペースを確保しています。病院とは思えない雰囲気作りに努めています。

そして、内視鏡検査や治療を受けられる患者さんに、安全かつ安心して検査を受けてもらえるよう、消化器内視鏡センタースタッフ全員が、明るい笑顔で丁寧な説明を心がけ、病院理念に沿った「患者さん本位の心温まる医療の提供」に努めています。

平成24年度の年間の検査件数は、富山市の胃がん検診を含めた上部消化管内視鏡(胃カメラ)

5,181件、下部消化管内視鏡(大腸カメラ)1,232件、その他、膵・胆管検査を含めて計6,486件を実施し、年々増加傾向です。最近では患者さんの苦痛が少ないカプセル内視鏡や、鼻からカメラを挿入し検査する経鼻内視鏡を本格導入しました。また、侵襲が少ない内視鏡的な胃がん、大腸がんの治療も拡大して行っています。

健康維持のためには、異常の早期発見・早期治療が大切です。内視鏡検査によって病気を早期に発見できる場合がありますので、異常を感じた際には、内視鏡検査をお勧めします。





NEW FACE PROFILE

# 新人自己紹介



①氏名 ②所属(配属) ③抱負・自己PR等



ユグチ タカシ  
①湯口 卓  
②外科部長  
③まずは1年頑張ります。



ツノ ヒロアキ  
①津野宏彰  
②歯科口腔外科医長  
③本年度より標榜を変更し、担当させて顶きます。既存の院内連携を保ちつつ、新たな特色を、と考えています。



オノ ヒロカズマサ  
①大原一将  
②内科医長  
③患者さんをチームで診て支えていく温かい医療ができればと考えています。よろしくお願いします。



ホリ サトシ  
①堀 聡  
②脳神経外科副医長  
③4年ぶりの勤務となります。患者さんの幸せにつながる様、自分の技術を磨きたいと思ひます。よろしくお願いします。



ミツ タクシ  
①三輪武史  
②外科医員  
③当院には初めての赴任となります。現在医師6年目の若輩者ですが、少しでもお力になれるよう頑張りたいと思ひます。



オノ ヒロユキ  
①小野田寛  
②内科医員  
③循環器内科医として赴任することになりました。丁寧な診療を心掛けていきますのでよろしくお願い致します。



ヤマザキ ナオミ  
①山崎直美  
②薬剤師  
③縁あって、再びお世話になることになりました。再度、よろしくお願い致します。



ワダ ノゾミ  
①和田望未  
②診療放射線技師  
③明るさと笑顔で親しみやすい技師でいたいと思ひます。気軽に声をかけてください。よろしくお願い致します。



タカヒラ ヨシユキ  
①高平義之  
②診療放射線技師  
③患者さんにより良い検査を受けていただくために日々努力していきますので、よろしくお願い致します。





ミヤザキ  
①宮崎しのぶ  
②臨床検査技師  
③おっとり型ですが、新しい仕事を早く覚え、正確に行い、安心して頂けるような医療を提供したいと思えます。



オリハラ メグミ  
①折田 恵  
②臨床検査技師  
③済生会病院には幼い頃からお世話になっていました。これからは病院スタッフの一員として精一杯頑張ります。

N U R S E  
看護部



カツラギ アイ  
①加治麻衣  
②看護師(消化器内視鏡センター)  
③新しい環境に少しずつ慣れていき、専門的な知識、技術を得られ、安全に確実に看護を実施していきたいです。



ゴシマトモコ  
①五島知子  
②看護師(3階病棟)  
③至らぬ点が多々あると思えますので皆様、バシバシ指導をお願いいたします。初・成人急性期頑張ります。



ワダ メグミ  
①和田 恵  
②看護師(3階病棟)  
③患者さんや家族の声にしっかりと耳を傾け、満足していただける看護を目指します。自己成長ができるように、何でもチャレンジしていきたいと思えます。



フルハツエリ  
①古畑絵理  
②看護師(3階病棟)  
③患者さんにとってより良い看護とは何かを常に考え、行動できる看護師になれるように頑張ります。よろしくお願いします。



ササエリコ  
①佐須恵理子  
②看護師(3階病棟)  
③責任感を持って、誠実に患者さんと接していきたいと思えます。よろしくお願いします。



アイザワ ハルカ  
①相澤 悠  
②看護師(3階病棟)  
③患者さんと向き合い、寄り添うことができるような看護を行っていただけるように努力していきたいです。



キクチアユミ  
①菊地亜由美  
②看護師(4階病棟)  
③看護師として6年目を迎え、新たな環境でさらに多くの事を学び、成長していきたいと思えます。よろしくお願いします。



マツイユキ  
①松井由杏  
②看護師(4階病棟)  
③患者さんやご家族の気持ちに寄り添い安心していただけるケアが提供できるように1つひとつ学んでいきたいです。よろしくお願いします。



オオタミユ  
①大田美穂  
②看護師(4階病棟)  
③いつも笑顔忘れず、患者さんの気持ちに寄り添い、信頼される看護師になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



サカイリナ  
①酒井里奈  
②看護師(4階病棟)  
③いつでも責任感、緊張感を持ち、看護師として向上していただけるよう努めます。今後ともよろしくお願いします。



ナガノアミ  
①永野愛美  
②看護師(4階病棟)  
③期待と不安な気持ちでいっぱいですが、一生懸命頑張りたいと思えます。よろしくお願いします。



サカイミホ  
①酒井美保  
②看護師(5階病棟)  
③初めまして、酒井美保です。まだ、右も左も分かりませんがご指導よろしくお願いします。信頼される看護師になりたいです。☆



ドウヨナミ  
①道用夏美  
②看護師(5階病棟)  
③とても緊張していますが、思いやりをもって患者さんに接することができるよう一生懸命頑張りたいです。よろしくお願いします。



ナカガワ エリカ  
 ①中川瑛里加  
 ②看護師(5階病棟)  
 ③できるだけ多くの患者さんを笑顔にできるよう精一杯努めたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。



ハシ ハマサミ  
 ①橋場雅美  
 ②看護師(5階病棟)  
 ③患者さんに寄り添い、笑顔で看護ができるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



ハセガワ ユカ  
 ①長谷川祐香  
 ②看護師(6階病棟)  
 ③患者さんに頼りにされるような看護師になるため、早く仕事を身につけたいと思います。よろしくお願いいたします。



マツナガ エリ  
 ①松永英里  
 ②看護師(6階病棟)  
 ③どんな時も笑顔と思いやりの心を忘れずに一生懸命がんばりたいと思います。未熟ではありますがよろしくお願いいたします。



ナカダ ミツホ  
 ①中田美保  
 ②看護師(6階病棟)  
 ③患者さんにより良い看護を提供できるよう日々精進していきたいです。よろしくお願いいたします。



アサイ ユウジ  
 ①浅井裕司  
 ②看護師(6階病棟)  
 ③1日でも早く職場に慣れ、専門職として患者さんや家族に安全・安楽な看護を提供していきたいです。



イマイ サヤカ  
 ①今井沙弥可  
 ②看護師(7階病棟)  
 ③体を動かすことが好きで春夏秋冬何らかとスポーツしています。皆さん、よろしくお願いいたします。



イノ セイト  
 ①飯野世都  
 ②看護師(7階病棟)  
 ③長年の夢だった看護師として従事できることをとても嬉しく思います。人とのつながりを大切に頑張ります。



サカイ ミツホ  
 ①酒井美穂  
 ②看護師(7階病棟)  
 ③看護師としてスタートをきりました。未熟者ですが、一生懸命勤めたいと思います。よろしくお願いいたします。



シミズチカ  
 ①清水千加  
 ②看護師(7階病棟)  
 ③患者さんの気持ちに寄り添い、思いやりの心を持った看護師になれるよう頑張りたいです。



タカヤマ カナ  
 ①竹山花菜  
 ②看護師(7階病棟)  
 ③さまざまな出会いを大切に、毎日笑顔を忘れず頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

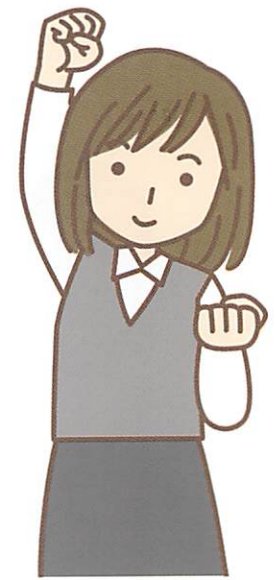
S L E R K  
**事務部**



イクシタミ ミキ  
 ①池下美沙紀  
 ②医事課主事  
 ③いろいろな事を吸収し成長していきたいです。明るく笑顔で頑張ります。よろしくお願いいたします。



ヨネ ムラカズノリ  
 ①米村和則  
 ②駐車場整理員  
 ③用度課の米村です。よろしくお願いいたします。



済生会富山病院では  
**無料・低額診療事業**を  
実施しています

**無料・低額診療事業**とは、医療費を

**減額 免除**

できる制度です。

生計困難な方が経済的理由により、  
必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、  
無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。



**例えば** このような時にご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、  
医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方



**利用方法**

利用にあたっては、一定の条件がありますので、  
まずは医療福祉相談室へご相談ください。  
お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

**相談窓口**

医療福祉相談室(1階26番)  
TEL 076-437-1111(代)  
月～金 9:00～17:00

**毎月第2火曜日に無料・低額診療  
相談会を実施しています**

場 所:医療福祉相談室 時 間:9:00～12:00

**相談は  
無料です**



## 理念

# 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

## 基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

## 患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

### ① 個人としてその人格を尊重される権利

患者さんはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

### ② 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さんは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

### ③ 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さんはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さんが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明（インフォームドコンセント）を受ける権利があります。

### ④ 選択の自由と自己決定する権利

患者さんは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

### ⑤ プライバシーが守られる権利

患者さんは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。



患者さんには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践するために、次のことをお願いします。

- ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えて下さい。
- 診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えて下さい。
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。



済生会富山病院報  
くすのきだより

発行者

富山県済生会富山病院  
院長 三崎 拓郎

#### 【編集委員会】

井内 和幸	加藤 智代	久保 道也
佐々木 正詞	嶋 作英之	下司 洋臣
関岡 綾子	西川 和良	野崎 春奈
堀田 裕子	松倉 裕喜	南沢 宏
川部 泰臣	八十島のどか	

## 平成24年度のご寄付のお礼

田近 貞克様	高木 克子様
石黒 重男様	松村 内久様
河合 宏一様	

貴重なご厚志  
ありがとうございました。